



須留が峰

令和6年度
No. 13

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

To Be a Good School 令和6年9月18日 発行



ほんとに楽しかった！ 勝覇笑美戦

「楽しかった！」。閉会式の「講評」でうまくまとめて話せなかったのですが、すべてはこの「楽しかった！」という思いに尽きる体育大会でした。もちろん、みんなで「やり切った！」という充実感や達成感を十分に感じてはいますが、その前に、心から素直に込み上げてくる感想が、この「楽しかった」というものでした。

きっとそれは、生徒たちの声がとてもよかったからだと思います。演技中はもちろん、生徒席から聞こえてくる応援の声も、どの声をとってみても、前向きに、明るく、養父中生の素直な思いがそのまま声となってよく響いていました。また、熱中症対策の一環として「給水タイム」をプログラムの合間合間に入れ、余裕をもって進行したことにより、各演技にしっかりと取り組めたことも楽しさにつながったのではないかと思います。暑い中でしたが、適度に風が吹き、その風に和みながら過ごせたことも本当にありがたかったです。



<選手宣誓>



<綱引き>

例年と同様、プログラムの内容や構成に創意工夫することにより、力強くきびきびとした動きの中にも、どこことなくほのぼのとした面もあるのが養父中の体育大会の特徴ではないかと思います。それが全体として楽しさにつながっていることに改めて実感することができました。

開会式後の「EX ダンス体操」では、最後の動きである右腕を伸ばし天を指さすシーンに、「これから始まる」というワクワク感をいつも感じさせられます。

「ブロック選抜リレー」では、生徒たちの力強い走りを見ながら、「紅編」「漢編」というネーミングはいつ、誰が考えたんだろうと思うのですが、まだ誰にも聞けずにいます。

「綱引き」での3年生と保護者の皆様とのエキシビジョンマッチでは、多くの保護者の方々に参加いただきました。保護者チームの圧倒的な強さに、学校としても作戦を立て直さなければいけないと思っています。「玉入れ」では、通常1点の赤玉・白玉に加え、今年も5点玉、10



<玉入れ>



<障害物競走>



点玉を用意していましたが、3ブロック全体で、5点玉が0球、10点玉が1球しか入らなかったことが残念。

来年度は、少し特訓が必要ですね。逆に、「大縄跳び」では、全体として予演会の時よりも上手に跳ぶことができ、養父中生が密かに持ち合わせている本番での強さを感じさせられました。「障害物リレー」については、とにかく怪我なく最後までつなぐことができよかったです。そしていつも見ていて感じるのですが、サッカーボールを操るのはやはり難しいことなのでしょうね。



<大縄跳び>

素晴らしい体育大会をありがとうございました



<借人競争>

生徒会種目の「借人競争」では、小さなお子様から大人の方まで多くの方々にご協力いただきました。生徒が引く「くじ」の中に「ドイツ語が話せる人」というものがあり、「そりゃなかなか難しいだろう」と思っていたら、なんと語学を勉強されている大学生の方が出てきてくださったのは驚きでした。他にも、小学生や就学前のお子様も登場いただき、インタビューの答え方もなんとも愛らしく、ステキなひと時となりました。会場全体の一体感を大いに感じる競技になりました。生徒会、ありがとう！！

1年生の学年競技では、ただ散らばっているボールを拾い集めるだけの競技に思いましたが、これも「くじ」を引くことで展開が変わるとい
う、何とも言えないおもしろさが醸し出される工夫のある競技でした。2年生の学年競技では、見ている者をルーブル美術館や凱旋門に連れて



<1年生:学年演技>



<2年生:学年演技>

行ってくれました。オリンピック・パラリンピックイヤーならではの趣向に感心しました。「オー・シャンゼリゼ」の曲で入退場する2年生の生徒の姿はとてかわいかったです。3年生の学年競技は、ただ土のうを運ぶといういたってシンプルな内容でしたが、運ぶ土のうの重さは3種類あり、チームの中で誰がどの重さの土のうを運ぶかを考えて、チームワークを高めるといのがポイント。多少重たくても、安心感をもって運ぶ表情はそのせいだったかもしれません。



<3年生:学年演技>

「学級対抗リレー」での白熱した走りと応援に圧倒されながら、体育大会もいよいよクライマックスへ。全校生によるダンスでは、それぞれの動きと楽しいかけ声がマッチして、3年生から1年生まで、まさに息の合った心弾むダンスでした。そして3年生によるダンス。これはもう、3年生のみんなが心躍らせて取り組んできたことが本当によくわかる、無邪気で楽しく、熱い



<学級対抗リレー>



<全校生ダンス>

ダンスになりました。3年生に關係の先生方も参加し、みんな総出で楽しさを共有し満喫している様子がよくわかりました。まさに「一生懸命はかっこいい」が最終形として体现され、大いに感動しました。ダンスリーダーのアドバイザーであった千葉美和さんも、カメラを片手に、「みんなの笑顔が最高にいい！」ととても喜んでおられました。

体育大会をはじめ学校には様々な行事があります。そうした行事は、「1人では決してできない」ことであり、「仲間がいるからこそできる」ことであるといつも思います。そのためにも、よりよい仲間づくりは大切な基盤であり、生徒には日常的にいろいろと折り合いを付けながら、調整していく力が必要となります。

学齢を重ねるたびに、自分の好き嫌いや自分勝手な思い・気分だけでは、果たせないことが生じてきます。大人になるということは、わがままな振る舞いをしたり、逆に我慢ばかりすることではなく、仲間や集団のよりよい高まりのために、協働的にそして創造的に貢献していく力を身につけていくことではないかと思えます。この体育大会で感じた「一体感」は、生徒たち1人1人が自分自身を調整しながら、全体のためによりよく貢献していった力の結実なのだととらえています。



<3年生ダンス:フィナーレ>

この体育大会を通して、また生徒たちのよりよい成長を感じられたことは、本当に幸せです。

Do something Do more Do better (まずやろう もっとやろう よりよくやろう)